

発に努め、可能なところから実践モデル地区を設定したい。

吉備路を生かして

観光産業の育成を

問 地域の活性化を図るため、吉備路の観光資源を生かした新しい観光産業の育成・支援を。



吉備路の魅力を全国に(吉備津神社)

答 観光客の回遊性を高めることが重要と考え、県や周辺市町村で構成する吉備路観光連絡協議会等で観光産業の活性化を図っている。平成14年度末完成予定の高松城水攻め築堤跡公園(仮称)を、既存資源と組み合わせることで新たな吉備路の魅力が生まれ、新しい観光産業の育成・支援につながると考える。

庭瀬駅周辺の

放置自転車対策

問 庭瀬駅の駐輪場整備と放置自転車対策は。

答 現在、用地確保に向け鉄建公園と協議中であり、取得後速やかに着手したい。完成後は駅周辺を放置禁止区域に指定して啓発指導の強化を図り、三時間以上の放置自転車を撤去するなど、民間駐輪場経営者も含め市民協働で取り組みたい。

公明党

老人保健施設

リハビリ効果向上に向けて

問 特別養護老人ホーム化が懸念される老人保健施設のリハビリ効果を上げる方策は。

答 施設により日常生活動作面の改善率に差があることから、市民に改善の余地があるとの認識を共有してもらつ必要があり、成績良好な施設を称賛し、広く紹介するような施策を平成15年度に向けて研究したい。

本市財政の再建策は

問 デフレの影響で固定資産税の減収など厳しい財政状況が

続いているが、本市の対策は。
答 保有土地へのリース方式導入等による雇用の促進、金利負担の増大する市債残高増加の歯止め、安価で効率的な事業推進などに取り組んでいきたい。根本的には、教育、保育、雇用、住環境の充実等の人口増対策が、自然増収につながっていくものと考え。

林原の再開発構想

事業推進を支援

問 林原(株)がJR岡山駅南隣接地に計画している再開発構想への本市の関わりは。

答 都心の魅力アップと拠点性強化につながるものと期待しており、事業効果が相乗的に中心市街地の活性化につながるよう、官民のパートナーシップの



新たなにぎわいの核へ～
開発が待たれる林原駐車場付近

もとに事業の推進を支援したい。まず、同社と県、本市で事務レベルの研究会を設置し、事業の影響や効果、手法等について調査・研究を行いたい。

食の安全確保に向けて

問 食の安全を確保するためトレーサビリティ・システム(生産履歴の追跡システム)を導入しては。

答 JAでは農産物の安全性確保に向け、栽培や出荷等の記録、残留農薬の検査結果などを消費者等に情報提供する「おかやま野菜安全安心システム」を立ち上げる予定だ。本市としては、JAと協力し、生産者の顔が見える地元農産物の直売や同様なシステムの構築を推進していきたい。

共産党

非課税世帯の

介護保険料・利用料軽減を

問 介護保険料は平均五百七十六円の値上げ、訪問介護利用料も二倍になる。市一般会計からの繰り入れにより、市民税非課税世帯の 保険料の減免拡充を 利用料軽減措置を平成15年



安心して老後を送るために(訪問介護)

度以降も継続すべきでは。
答 減免基準の緩和を検討しているが、財源は保険料を充てる。利用料3%軽減を継続すると年間四千万円が必要であり、公費での継続は困難だ。

障害者支援費制度

平成15年度開始に向けて

問 平成15年度から、障害者自身がサービスと事業者を選んで契約する支援費制度が開始されるが、障害者計画でニーズに応じた数値目標を定めるべきでは 予算の確保を。

答 ホームヘルパー派遣回数、デイサービス利用回数などに加え、特に居宅介護における多様な利用者ニーズに対応するため、夜間や休日等の区分も含めて具体的数値目標を設定したい。厳しい財政状況だが、必要な予算確保に努めたい。